

取扱いの趣旨

歯科パノラマ断層撮影後、処置又は手術を行わずに撮影した歯科パノラマ断層撮影で新たに得られる画像情報は少ないことから、処置又は手術の算定がない同月又は連月での複数回の歯科パノラマ断層撮影の算定は原則として認められない。

支払基金が公表している取扱いの全文

【画像診断】

《令和3年2月22日》

72 写真診断⑦

○ 取扱い

原則として、処置又は手術の算定がない、同月又は連月の複数回の歯科パノラマ断層撮影の算定を認めない。

○ 取扱いを定めた理由

最初に撮影した歯科パノラマ断層撮影の画像情報と、処置又は手術を行わずに同月又は連月で撮影した歯科パノラマ断層撮影の画像情報とを比較した場合に、後者の撮影で新たに得られる情報は少ないことから、本撮影を複数回行う必要性は乏しいと考えられる。

○ 留意事項

新たに傷病が発生した場合や、処置又は手術後の経過を観察する場合に行われた同月又は連月の複数回の歯科パノラマ断層撮影は、事例ごとに判断する必要があると考えられる。

グラフの見方

1 棒グラフ（該当レセプトの審査結果）

歯科パノラマ断層撮影を算定している目視対象レセプト1万件当たり、条件（処置又は手術がなく複数回の歯科パノラマ断層撮影を算定）に該当するレセプト件数

2 折れ線グラフ

該当レセプトのうち、歯科パノラマ断層撮影が
査定・返戻となった割合

【棒グラフ凡例】 審査の結果

査定	返戻	: 取扱いどおり
請求どおり 職員	請求どおり 審査委員	: 検証が必要

審査結果の概要

- 全国の査定・返戻割合 30.82%
- 検証を必要とする都道府県 46

検証観点	検証を要する都道府県	備考
------	------------	----

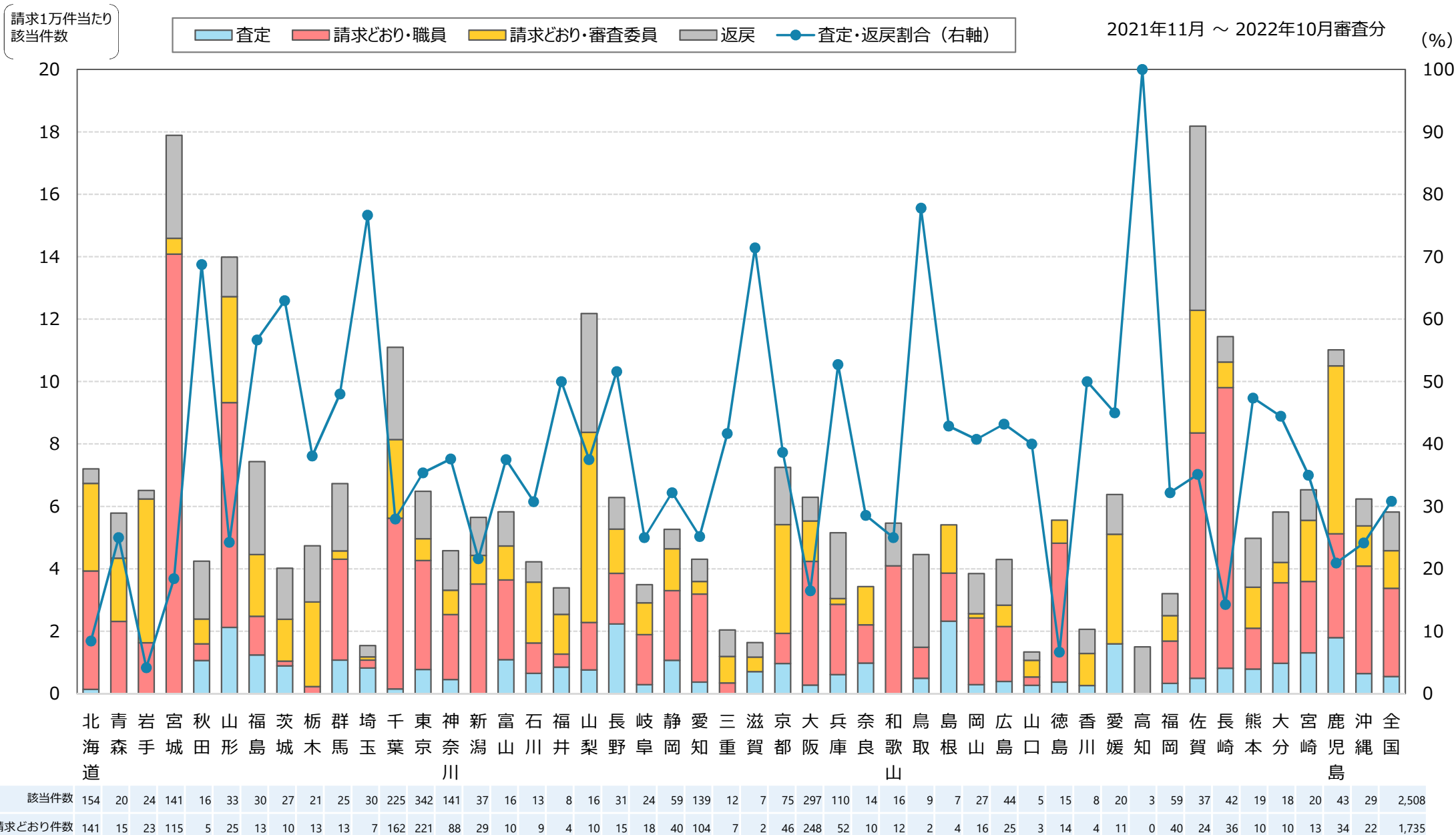
査定・返戻割合が低い都道府県 岩手、徳島、北海道、長崎、大阪、宮城、鹿児島、新潟、沖縄、山形、青森、岐阜、和歌山、愛知、千葉、奈良 査定・返戻割合の低い順

請求どおり・職員	宮城、長崎、佐賀、山形、千葉、徳島、和歌山、大阪、北海道、新潟、東京、沖縄、鹿児島、群馬、愛知、大分	対象1万件当たり件数の多い順
請求どおり・審査委員	山梨、鹿児島、岩手、佐賀、愛媛、京都、山形、北海道、栃木、千葉、青森、福島、宮崎、石川、島根、長野	//

該当件数（全国）	処置又は手術がなく複数回の歯科パノラマ断層撮影を算定	2,508件
取扱いに基づく審査	査定・返戻の計	773件
検証を必要とする審査	請求どおり	1,735件

事例72 処置又は手術のない複数回の歯科パノラマ断層撮影の取扱い

【認めない事例】



【該当件数】 処置又は手術がなく複数回の歯科パノラマ断層撮影を算定しているレセプト件数